聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院リハビリテーションを実施されている皆さんへ

『集中治療室における作業療法の介入量がせん妄/認知機能/日常生活動作能力に与える影響を検討する単施設後ろ向き観察研究』について

(1)　研究の目的

リハビリテーション部では、集中治療室に入院された方の過去に検査された筋力や柔軟性、認知機能を用いて、作業療法が認知機能と日常生活動作能力に与える影響について研究を行うこととなりました。この研究は、リハビリテーション分野におけるリハビリテーションの質の向上を目的としたものであり、皆さんの今後の診療にも役立つことができると考えています。なお、本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会(臨床試験部会)にて審議され学長の許可を得て実施しております。

(2)　研究対象者について

2017 年 4 月 1 日から 2026 年 8 月 31 日までに当院に入院され、リハビリテーションを実施された方のデータです。

(3) 使用するデータについて

この研究では、運動機能や認知機能やせん妄(一時的な混乱状態)、日常生活動作の様子、生活の質に関する記録を調査します。

・調査項目

年齢、性別、診断名、身長、体重、重症度(APACHE Ⅱscore、SOFA score、comorbidity index)、
ICU 在室日数、入院期間、作業療法の開始日、挿管の有無、人工呼吸器装着期間、鎮静量、血糖値、敗血症の有無、腎代替療法の有無、意識水準(Glasgow Coma Scale)、運動機能(MRC、握力、肩、肘関節自動屈曲角度)、認知機能(MMSE)、せん妄(CAM-ICU、CAM-ICU7、CAM-ICU 陰性日数、CAM-ICU 陽性日数)、日常生活動作能力(BI、 FIM、FSS-ICU)、生活の質(EQ-5D-5L)

(4) 個人情報の保護について

この研究では登録の時に、新たに研究用の個別の番号(識別コード)を付し、個人が特定できないようにして取扱います。個人情報と識別コードの紐づけ表を作成し、リハビリテーション部内の鍵付きの棚で厳重に保管します。

(5) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表される予定です。その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心下さい。

(6) 研究の実施期間について

本研究の実施期間は、承認後から 2028 年 3 月 31 日までを予定しています。

※ この研究の対象となられる方で『ご自身の検査結果を除外してほしい』と望まれる方あるいはご家族の方は、下記問い合わせ先に 2027 年 12 月 31 日までにご連絡下さい。

問い合わせ先

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

住　所:〒241-0811　横浜市旭区矢指町 1197-1

電　話:045-366-1111(代表)

研究責任者:リハビリテーション部　作業療法士　佐々木祥太郎　PHS 8353